

JR貨物政策学習会

国労水戸

年末手当1・64ヶ月の低額回答

貨物会社は11月17日、基準内賃金の1・6ヶ月プラス会社発足30周年にあたり、これまでの労苦に報い0・04ヶ月の年末手当を支給するとの回答を行った。

水戸地本は客貨一体の取り組みとして12月6日、貨物政策学習会を開催した。

久保田委員長は貨物会社は18年連続ベアなし、手当の低額支給と厳しい。同じ労働者、同じ組織として、課題に学び今後の運動にしていききたいとあいさつした。

貨物中野分会
長から常磐線が



久保田委員長は、開通した場合、一部区間の除染が高いと運転乗務に不安がある。

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 久保田重明
編集責任者 坂下 司

仲間の信頼
力を変えて
この闘いをすすむ
組織の拡大へ

会社から退職後も延長してほしいと言われ、要員不足の実態で若い人に技術が伝えられていない。

新型機関車導入予定で検査延伸に安全安定輸送に不安だと報告した。

JR発足30年における貨物会社の諸問題として全国貨物協議会木村事務長より、分割・民営化から黒字経営は続いたがリーマンショック、大震災等で赤字に。最近ではトラックドライバー不足で経営は改善。今年は過去最高の黒字経営になった。



アボイダブルコストでの線路使用料の負担、長期債務の増加、老朽車両の更新、平行在来線問題の構造矛盾がある。

経常利益は過去最高でも期末手当はJR北海道、JR四国と比較しても最低。国労は組合オルグなど、

基本給の削減改善や55歳以上の基本給改善を勝ち取ったと報告した。

意見交換では中途採用が

入ってきて、前の会社より職場はひどいと辞めていく。

年末手当、プラス0・04ヶ月の根拠は、およそ一百万円の数字。若い人、低賃金の人ほど金額は少ない。貨物労組は納得させられている

旅客でも委託化、プロパー社員の低賃金であり組織の多数派を展望とした国労組織の拡大が必要です。

2018年新春
国労水戸地本団結旗開き
ところ 水戸京成ホテル
とき 2018年1月6日 (土)
11時受付
11時30分開会

